

<Vol,page No.>

43, 445-446

<section>

Indoor and Occupational Pollutants

<English title>

ASPECTS ON POLYBROMINATED DIPHENYL ETHERS AS INDOOR, OCCUPATIONAL
AND ENVIRONMENTAL POLLUTANTS

<Japanese title>

室内、職場、環境における臭素化ポリジフェニルエーテルの汚染物質としての挙動

<Authors>

Gunilla U. M. Lindström

<keywords>

QA/QC, toxicity, transformation, exposure pathway, inhalation, skin uptake, food-chain

<Japanese keywords>

品質保証/品質管理, 毒性, 変化, 暴露経路, 吸入, 経皮吸収, 食物連鎖

<Captions>

<Summary>

臭素化ポリジフェニルエーテルの室内、職場、環境における汚染物質としての挙動の観察、
その発生源の特定及び生体への暴露経路に関する検証を行っており、それらの問題点に
ついて提起を行っている。

<Translator>

藤原 英隆

<end>

<Vol,page No.>

43, 447-452

<section>

Indoor and Occupational Pollutants

<English title>

Occupational exposure to polybrominated diphenyl ethers at dismantling of electronics - Ambient air and human serum analysis

<Japanese title>

電子部品分解時の臭素化ポリジフェニルエーテルの職場環境への暴露 - 周囲の空気および人の血清分析

<Authors>

Andreas Sjödin, Kaj Thuresson, Lars Hagmar, Eva Klasson-Wehler and Åke Bergman

<keywords>

electronics, serum, additive flame retardants

<Japanese keywords>

電子部品, 血清, 難燃・遅炎添加剤

<Captions>

図1 リサイクルプラントにおける空気中の PBDEs レベル：電子部品の手動分解エリア内 (N=12) : 難燃プラスチック破砕シュレッダー (N=2)

図2 電子部品分解と病院の清掃、二つの業種に従事する労働者の血清の PBDEs レベル

<Summary>

コンピューターやテレビなどの電気機器に難燃材として使用されている臭素化ポリジフェニルエーテルに関して、その分解作業やリサイクル作業時における作業員への暴露について、作業環境大気と作業員の血液サンプルの測定により検証を行った。

作業環境では、2,2',3,3',4,4',5,5',6,6'- decaBDE (BDE-209)の濃度が高く、血液サンプル中では2,2',3,4,4',5,6-heptaBDE (BDE-183)の濃度が高かった。これは、BDE-209 が BDE-183 よりも変化しやすいことと、BDE-183 が BDE-209 よりも生物に取り込まれやすいことが理由である。

<Translator>

藤原 英隆

<end>

<Vol,page No.>

43, 453-456

<section>

Indoor and Occupational Pollutants

<English title>

PCB CONTAMINATIONS OF BUILDINGS AND DECONTAMINATION MEASURES

<Japanese title>

建物の PCB 汚染とその浄化手段

<Authors>

Ilona Bleeker, Friedrich Tilkes, Anna B. Fischer and Thomas Eikmann

<keywords>

PCB, building material, , sealant

<Japanese keywords>

PCB, 建築材料, シーラント

<Captions>

表 1 可能性の高い 1 次汚染源

表 2 PCB-汚染された建物からの 2 次汚染源の PCB-濃度

<Summary>

ドイツにおける建築材料として使用された PCB による室内汚染に関して、含有材料の種類及びその含有量に関する調査結果について報告されている。そして屋内空気濃度ガイドライン遵守に向けた浄化対策については、手作業や電氣的切断、窒素冷凍の後シーラントの除去や、封印効果を利用した壁紙・コーティング材の使用を提案している。

<Translator>

藤原 英隆

<end>